

医療

最前線



特殊歯科総合治療部
准教授 吉田 治志

特殊歯科総合治療部
助教 鮎瀬 てるみ

特殊歯科総合治療部
助教 野上 朋幸

恐怖・ストレス軽減のため鎮静法、全身麻酔を用いた歯科治療

歯科治療に不安を抱く方は少なくありませんが、歯科治療恐怖症とは恐怖心が強いために歯科治療を行うことができない状態を言います。齲蝕、歯周病などの口腔疾患を患いつつも歯科治療を受けることができないために放置した結果、重篤な炎症の波及や咀嚼能力の損失などをもたらし、口腔内の疾病にとどまらず全身の健康を損なってしまうこともあります。

歯科治療恐怖症の原因は患者さんによって異なりますが、主に過去の歯科治療の怖い経験（幼い頃に受けた歯科治療で抑えつけられた、局所麻酔で具合が悪くなった、治療中に痛かったなど）がトラウマとなっていることが多くみられます。こういう経験を二度としたくないという気持ちが歯科治療をより困難なものとしています。

歯科治療恐怖症の恐怖の対象は様々であり、歯を削る器械の音や振動、口の中への局所麻酔、歯科治療時の疼痛、歯科医院のにおい、歯科治療により泣き出す子供の声、歯科治療に用いる器具などが挙げられます。歯科治療を想像するだけで動悸がする、体が震える、涙が出るなどの症状がみられ、中には歯科治療の診療台に座ることすらできない方もいます。また、恐怖心を強く意識していなくても口の中に器具を入れるだけで嘔吐反射が起こる方もいます。これは歯科治療を拒否する気持ちが一因とも考えられており、患者さん自身の歯磨きでも反射が起こる場合は歯磨きが不十分となり、更に齲蝕や歯周病を進行させることにもなります。

特殊歯科総合治療部では全身的な病気や障害を有する方の他に、歯科治療恐怖症の方の歯科治療を行っています。歯科治療に対する恐怖心を和らげる方法としては主に笑気吸入鎮静法、静脈内鎮静法を行い、鎮静法で十分な効果が得られない場合は全身麻酔を検討します。鎮静法や全身麻酔については麻酔・生体管理室の先生方の協力のもとに行います。これらの方法の利点は歯科治療に対するストレスが軽くなることであり、これまで歯科治療を受けた歯科治療恐怖症の患者さんからは「これなら治療ができる。」「もっと早く来ればよかった」といった感想を多くいただいています。治療についてのお問い合わせは特殊歯科総合治療部歯科外来（TEL：095-819-7739）までご連絡ください。



特殊歯科総合治療部



静脈内鎮静法



笑気吸入鎮静法